

啓伸塾 便り

5月 皐月
May

〒五〇一・六〇五一
岐阜県羽島郡笠松町上本町三十六
啓伸塾
発行者 福井 伸次

そのための宿題の役割！

テストでもっと点数を取りたい！
勉強ができるようになりたい！
これらのことは、中学生のみならず、当然持っている「願い」でしょう。簡単に「楽に勉強が出来る方法はありませんが、それを効率よく、無駄なく」できる方法はあります。
その一歩は、勉強時間を増やす。
毎日少しずつ勉強をするという習慣を身につけることです。
家で過ごす時間が一番多いです。この時間を勉強に当てないと勉強時間は増えません。先月お伝えした隙間時間の利用法を取り入れ、勉強時間を増やすことを実行しましょう。

毎日の学習の習慣づけのための宿題

勉強時間を増やす方法の一つが、宿題をちゃんと時間を取って、自分なりに考え、調べてやることです。
中学生のみならず小学生のみならず、塾からは毎回宿題を出しています。その量は少ないです。それを丁寧に、時間を取り、しっかりと考え、調べてやることも、負担になるような量ではありません。

その内容は、学校や塾で取り組んだ内容の復習です。この宿題が満足にできないような子は、家庭学習がまったくできないといえます。

宿題の重要な役割

まず、学校や塾で習った内容を復習できるという点で、宿題は学習の定着を促す役割を果たします。
新しく学習したことは出来るだけ早くくり返し、理解を深めることが大切です。宿題を通じて、学んだことを自分のペースで復習する機会を持ち、長期的な記憶と理解を深めることができます。

そして、宿題を毎日決まった時間に行うことは、特に中学のみならず、単元テストや定期テストで点数が取れても、範囲の広い実力テストで点数がとれない子が多いです。

その原因は、テスト直前にしか勉強せず、長期的な記憶と理解を深められていないことが原因です。

思考の整理学 外山 滋比古 より

グライダー

学校の生徒は、先生と教科書にひっぱられて勉強する。自学自習ということはこそあるけれども、独力で知識を得るのではない。いわばグライダーのようなものだ。自力では飛び上がることはできない。グライダーと飛行機は遠くから見ると、似ている。空を飛ぶのも同じで、グライダーが音もなく優雅に滑空しているさまは、飛行機よりむしろ美しいくらいだ。ただ、悲しいかな、自力で飛ぶことはできない。
ここまでは「思考の整理学」からの引用です。

先生に教えられるまま、何も考えずに教科書の内容を覚えていたら、単元テストや定期テスト、学校の実力テストで点数が取れても、入試問題では点数が取れません。

今回行った中3生の塾内実力テスト(校外模試の過去問題)で、そのことがいえると思います。学校のテストでは、教科書の知識を覚え、それをそのまま使えば、問題がほとんど解けます。

しかし、入試問題(校外模試は入試問題の類題)は、学年をまたぐ、学年をクロスオーバーする問題が出題されます。これらの問題を解くには、学校で教わった知識の深い理解が必要です。教科書の知識を覚える際、その知識が「どうしてそうなるのか」を納得して覚え、その覚えた知識が必要な問題に取り組み、確実に解けるようにする必要があります。

「なぜ、そうなるのか」を、時間を費やし、じっくりと、考え取り組んだ人は、高得点を取っています。つまり、何も考えず覚えた人と、時間をとってじっくり考え、その上で覚えた人との差が、ここで表れます。頭がいいとか悪いとかいっている問題ではありません。

何も考えないグライダーではなく、自力で飛ぶことができる飛行機になってほしいと思います。

5月の予定

4月29日(昭和の日) 授業を行います。
5月 4日(月)・5日(火)・6日(水) いずれも祝日
授業はお休みします。(4月号にて連絡済み)

5・6月は小・中学校とも宿泊研修等の学校行事があります。わかり次第、ご連絡ください。
中学校では6月初旬には、前期中間テストが行われます。塾では、それに合わせテスト対策を行いますので、テスト範囲が発表されましたら、その範囲表を塾へお持ちください。中3生は、連休明けに実力テストが行われます。過去問題をお渡ししますので、連休中にテスト勉強をして下さい。

塾の教室を会場とする漢字検定は、7月に行う予定です。そのほかにネットでも検定を行うことができます。それらのご案内は、別紙にて後日ご連絡いたします。

宿題の効果を最大限に引き出すためには、家庭でのサポートが欠かせません。

親さんや家族の方が、子どもたちの学習を見守り、励ましの言葉をかけることが大切です。それは宿題に取り組む姿勢や意欲に影響を与えてくれます。

また、子どもたちが課題に取り組む際に、質問に答えたり、理解を助けたりすることは、彼らの学習をサポートする重要な役割を果たします。

親さんもしっかり勉強しましょう

中学校の勉強になると、子どもたちの質問に簡単に答えることは難しくなることがあると思います。その時は、しっかりと勉強することも、子どもたちの学力向上に大変効果的です。

親さんが手本になって、勉強に取り組む姿勢を子どもたちに見せましょう。親さんも新しい知識を獲得し、共に成長する機会を持つことができます。

親子でいっしょに読書を楽しむ、数学の問題に取り組むなど、共同で学びやすい方は、いろいろあると思います。

家庭学習を通じて「自分で考え、行動する力」も育ち、これは高校・大学受験だけでなく、社会に出てからも役に立ちます。

